

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：4年 2月 1日

事業所名：こころんクラブ高羽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・机上活動や運動活動など状況に応じて部屋を設定している	はい 14名 どちらとも言えない 3名 いいえ 0名 わからない 2名 ・公園に行ったり、夏休みの水遊び等で保育園の施設も利用して工夫されている ・活動しているところを実際に見ることがないのでわかりません	・活動内容によって部屋を分けたり、屋外での運動活動等も取り入れていく
	2 職員の適切な配置	・可能な限り児童と1対1で対応できるように職員を配置している	はい 16名 どちらとも言えない 2名 いいえ 0名 わからない 1名 ・先生の専門性や、配置の状況は見ることがないのでわかりません	・引き続き継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・必要に応じて遊具が見えないように目隠しをしている ・予定やロッカーに写真やイラスト等で示している	はい 18名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 1名	・それぞれの特性に合わせて、設備配置や構造化をできるようにする
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・感染症が流行する時期には玩具等の消毒頻度を増やしている ・活動に集中できるように遊びの時間以外は玩具に目隠しをする等している	はい 18名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 0名	・引き続き継続していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・活動内容を交代で計画して複数の視点を取り入れるようにしている		・会議にて問題点や改善点を募り次の計画立案に繋げていけるようにする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・現在おこなっていない		・コロナが落ち着いたら実施していきたい
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修の機会があれば参加するようにしている		・外部講師の療育指導も定期的に機会を設けていく ・機会を設けて内部研修の回数を増やしていきたい
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・定期的に面談を行いニーズや課題などを確認して作成している		・担当職員以外も児童の状況について把握する機会を増やしていき、アセスメントに繋げていけるようにする
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・能力や興味関心に合わせた活動を設定している	はい 19名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 1名	・個別活動と集団活動のそれぞれについて設定していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童の発達状況に応じて目標や具体的な支援内容を記載している		・今後も継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画やニーズに沿った支援内容を行うよう努めている	はい 19名 いいえ 0名 どちらとも言えない 1名 わからない 0名	・年齢や課題内容に応じて日毎の活動を設定し、児童に合った支援をすすめていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・担当職員を中心に、ミーティング等方向性を決め、リーダー職員にて活動を設定している		・支援方針や活動内容について話し合える時間を増やしていきたい
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇中は遠出の外出や調理活動等、普段行いにくい活動を取り入れている	はい 17名 いいえ 0名 無回答 1名 どちらとも言えない 0名 わからない 1名 ・いつも目新しいプログラムを考えて下さりありがとうございます	・長期休暇中は活動時間が長時間になるため、時間ごとにメリハリをつけられるように設定していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・リーダー職員を交代制にしてメンバーや児童の様子に合わせて活動内容を設定するようにしている		・同じ活動内容でも、提供方法や達成目標等を変更しながら興味を育てるようにしていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・活動設定ノートにその日の支援方針や内容等を記載し、確認してから支援を開始するようにしている		・支援の開始前に申し送り時間を設定し細かい内容について確認できるようにしていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・活動内容の確認や特記事項等を療育日誌に記載して残すようにし、振り返りに参加できない職員とも内容を共有できるようにしている		・引き続き継続していく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・記録を元に定期会議を行い支援の振り返りと改善を図っている		・振り返り検証する機会を増やしていきたい
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的に行い現状に合わせた計画を立てるようにしている		・療育会議などで児童の状況を確認する機会を増やしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・担当者会議が行われる際には参加するようにしている		・オンラインなども利用して参加、開催に働きかけていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	支援対象外		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	支援対象外		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・就学児には小学校に対して配慮事項等の情報伝達をしている		・引き続き継続していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・該当する状況なし		・今後必要があればおこなっていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・他機関や他業種間との情報共有の機会には参加するようにしている		・研修の機会を見つけて参加しやすい体制を取っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・以前は併設のこども園や近隣の児童館で交流を持つ機会を作るようにしていたが、新型コロナウイルスの影響で中止している ・近所の公園で近隣の児童といっしょに活動することはある	はい 10名 いいえ 2名 無回答 1名 どちらとも言えない 3名 わからない 1名	・感染症の状況を見ながら必要に応じて機会を設けていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域に向けた活動などは現在行っていない		・今後機会があればおこなっていきたい
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時と利用料変更時に伝達するようにしている	はい 18名 いいえ 0名 どちらとも言えない 0名 わからない 1名	・引き続き継続していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容		
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・作成、更新時等に個別面談を行い、支援計画を作成している	はい 19名 いいえ 0名	どちらとも言えない 0名 わからない 0名	・内容や意図が伝わりやすい文章作成を心がけていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・特別実施はしていない ・対応に困っている際などにアドバイスを行っていくようにしている	はい 7名 いいえ 6名	どちらとも言えない 2名 わからない 4名	・家で様子や困りごとについて継続して把握できるようにしていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳や送迎時に療育の様子や活動内容を伝えている ・発達検査を受けられた際には結果を伝達してもらい療育に活かしていく	はい 19名 いいえ 0名	どちらとも言えない 0名 わからない 0名	・伝わりやすい方法や表現を行っていく ・定期的なアセスメントを行い児童の状況をよく把握していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・連絡ノートでの相談事項については可能な限りその日に返答を返すようにしている。記載が難しい場合などは電話連絡にてお話をさせてもらっている	はい 17名 いいえ 0名	どちらとも言えない 1名 わからない 1名	・保護者から相談があった際には機会を設けてアドバイスや助言を行うようにしていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・特別実施はしていない	はい 4名 いいえ 10名	どちらとも言えない 1名 わからない 4名	・必要があれば開催について検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・第三者委員も含めて対応体制は整備している	はい 10名 いいえ 0名	どちらとも言えない 2名 わからない 7名	・契約時に説明しているが、周知していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳にてその日に行った活動の内容や様子を分かりやすく記載するようにしている ・特性に合わせて写真やカード等で伝わりやすくするよう配慮している	はい 15名 いいえ 2名	どちらとも言えない 0名 わからない 2名	・今後も伝わりやすい方法を継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な会報の発行や長期休み前には活動予定等の発信を行っている</li> </ul>	はい 18名    どちらとも言えない 0名 いいえ 1名    わからない 0名 ・ころん通信が月1回あればいいと思います ・会報の写真に息子が写っていないと少し残念な気持ちになります。小さくても全員写っているといいと思います ・毎回楽しみに読ませていただいています	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きできる範囲で継続していく</li> </ul>
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人名記載の書類等はシュレッダー処理をしている</li> </ul>	はい 15名    どちらとも言えない 0名 いいえ 0名    わからない 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱い方法についての留意事項等、職員に対して伝達していく</li> </ul>
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルを作成して職員に閲覧可能な状態にしている</li> <li>保護者には特に周知していない</li> </ul>	はい 15名    どちらとも言えない 1名 いいえ 1名    わからない 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時等、内容について説明していく</li> </ul>
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に火災や地震を想定した訓練を行っている</li> </ul>	はい 10名    どちらとも言えない 2名 いいえ 0名    わからない 7名 ・避難訓練をやった、と子供から聞いたことがなくわかりません	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練の様子や内容を連絡帳やおたより等で知らせしていく</li> </ul>
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に全職員を対象に研修を行っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き継続していく</li> </ul>
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状行っていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な際には法令に基づいて適切な対応を取っていく</li> </ul>
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児の昼食で指針により給食提供が難しい場合はお弁当を用意してもらっている</li> <li>食事時には席を離す等、接触することがないように配慮している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児の制限項目について周知確認を行い、注意を払っていく</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット、事故が起こった際には職員間で伝達し、報告書を作成している		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集を作成していく</li> <li>・外部事例集等を参考に活動時の注意点を確認していく</li> </ul>
	その他ご意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、感染対策を可能な範囲でよろしくお願いいたします</li> </ul>	